

教員・授業・勉強・研究について

授業への興味 4

学生の約9割が授業に興味を持つ

授業に興味がある 学部学生：53.4%、大学院学生：71.4%

授業の満足度 5

興味のある学生ほど満足度も高い

満足できる授業が60%以上 学部学生：31.1%、大学院学生：52.3%

授業科目の選択基準 6

科目選択の基準はまず内容

授業に興味のある人は内容を重視、興味のない人は単位取得の可能性を重視

出席率 7

授業に興味のある学生は出席率も高い。しかし、学年が上がると出席率は下がる

出席率「90~100%」 学部学生：49.5%、大学院学生：66.1%

授業以外にする勉強・研究時間 8

学年が上がると、出席率は減っても勉強時間は増える

最多回答は、学部学生：「0~5時間未満」、大学院学生：「25時間以上」

図書館等の利用 10

図書館は自主学習の支え

利用頻度は学部学生と大学院学生でさほど変わらない

教員との会話 11

自主学習の積極性は教員との接触を高める

短時間でも教員と会話をする学生は、学部学生：39.9%、大学院学生：82.0%

勉強と将来の関係 12

授業に興味のある学生ほど、勉強が将来役に立つと評価

役立つと考える学生は、学部学生：75.3%、大学院学生：88.2%

授業への興味と入学理由の関係 13

授業への興味と入学の理由は関連する

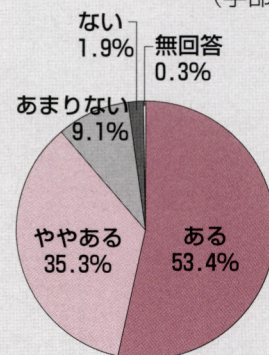
授業に興味のある人は内容重視、ない人は消極的理由重視

授業への興味と大学生生活の充実度 14

学ぶことの充実こそ、学生生活の充実

授業に興味のある学生ほど、入学後の満足感や充足感が高い

Q 大学の授業に興味がありますか？
(学部)





学生の約9割が授業に興味を持つ

授業への興味



授業に興味がある

学部学生：53.4%、大学院学生：71.4%

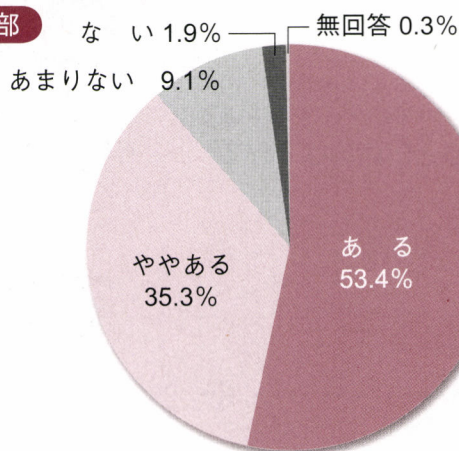
89.4%の学生が授業に興味を持っています。従って、授業に対する積極性は高いといえるでしょう。興味を持っている学生の比率は学部と大学院で、それほど違いがありません。しかし、その内訳をみると、大学院学生の場合、「ある」という

明確な答えが学部学生よりも多く、修士課程、博士課程とも70%以上になっています。

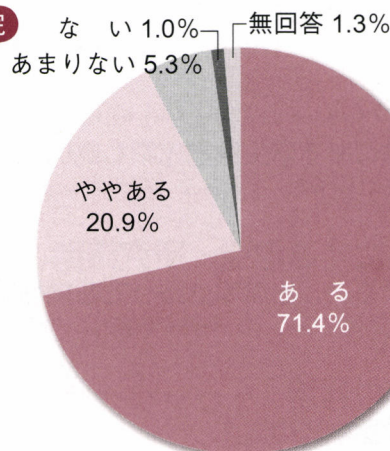
学年間の差をみると、学部学生でも、また課程間の比較となる大学院学生でも、あまり違いがないことが分かります。

大学の授業に興味がありますか？

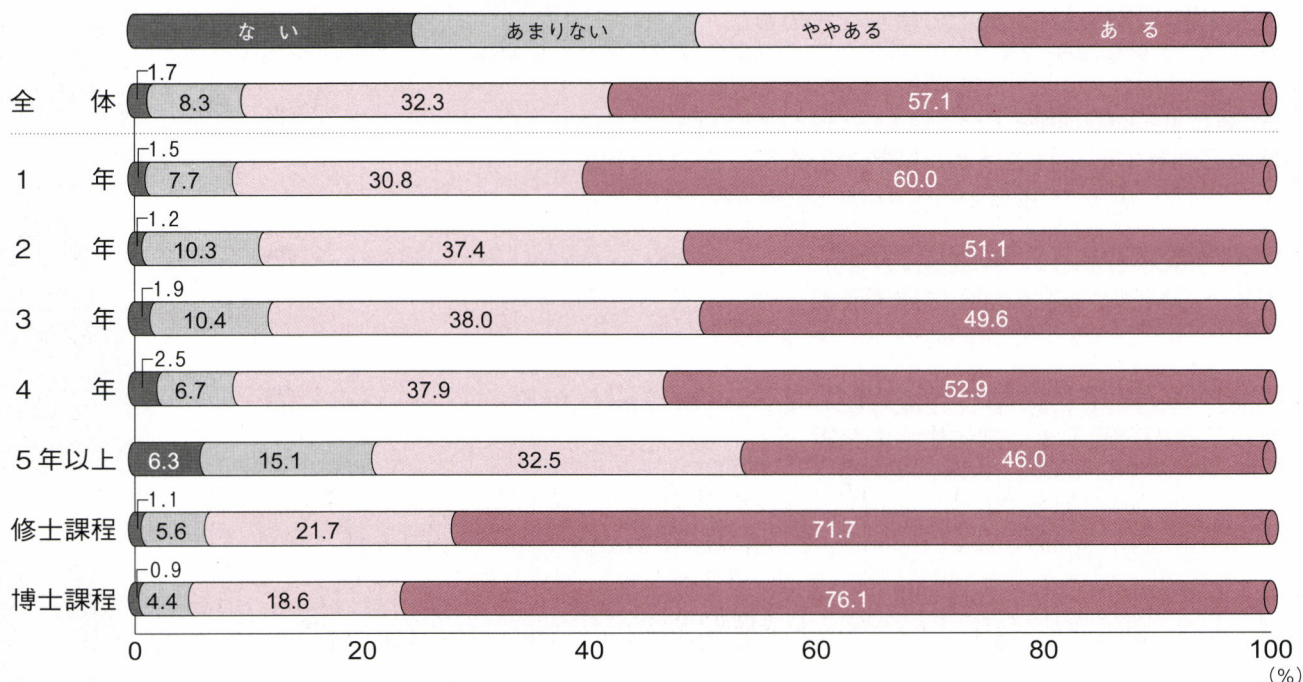
学部



大学院



大学の授業に興味がありますか？ 学年別





興味のある学生ほど 満足度も高い

授業の満足度



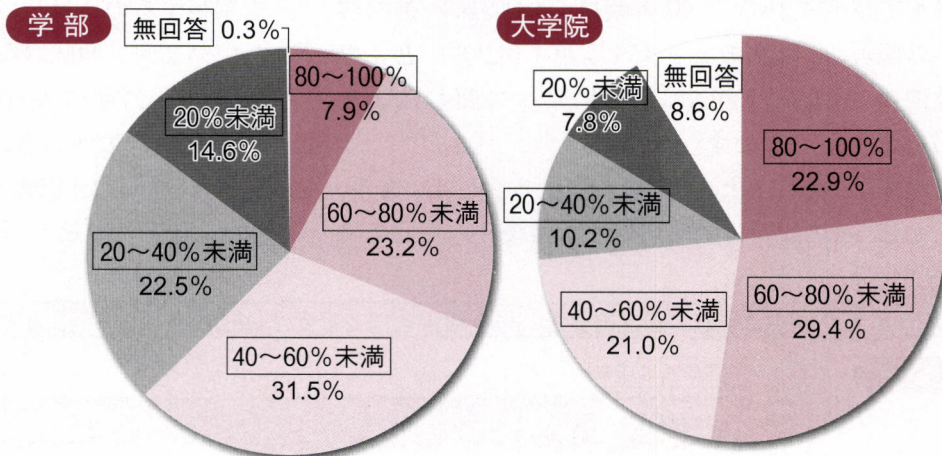
満足できる授業が**60%以上**

学部学生：**31.1%**、大学院学生：**52.3%**

満足できる授業が60%以上あるという回答は、学部学生では31.1%であるのに対し、大学院学生では52.3%と半数を超えています。なお、学年による大きな違いはありませんでした。

学部学生では、授業に興味のある学生ほど満足度も高いことが分かります。ただし、興味が「ある」と答えた学生でも、半数以上は満足できる授業が60%未満しかないと評価しています。今後は、学生の積極性に応えるために満足できる授業とはどのようなものかにつ

今あなたが取っている授業の中で満足するものはどれくらいありますか？



いて、具体的に検証していくことが求められます。大学院学生の場合も、授業への興味と満足度に同様の相関関係が認められました。

クロス集計

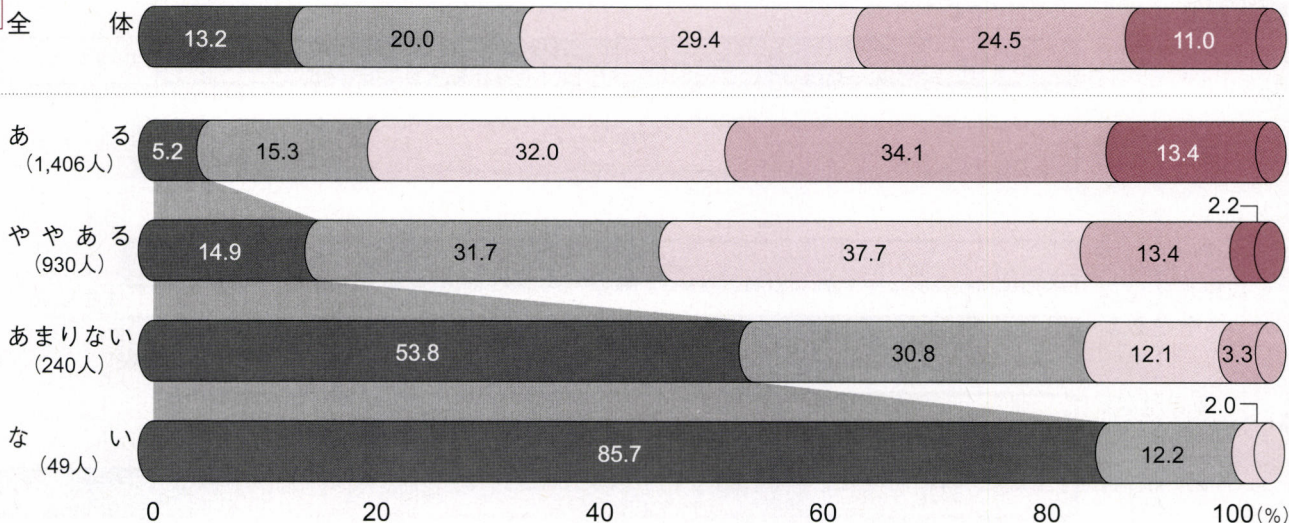
学部

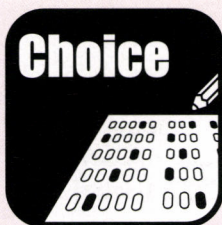
横軸 今あなたが取っている授業の中で満足するものはどれくらいありますか？

縦軸 大学の授業に興味がありますか？

授業の満足度

授業への興味





科目選択の基準はまず内容

授業科目の 選択基準



授業に興味のある人は内容を重視、
興味のない人は単位取得の可能性を重視

科目選択の基準は、「講義内容」(85.1%)、「授業形態」(11.8%)、「担当教員」(31.3%)を内容への関心、「出席チェックの有無」(4.2%)と「単位取得の難易」(26.3%)を結果への関心にまとめることができます。

学部学生を見ると、大半は内容を重視しています。しかし、この比率は授業に対する積極性によって異

なります。すなわち、授業に興味のある人ほど内容を重視するのに対し、興味のない人ほど結果を重視しています。興味のない人は、出席に厳しくて単位取得が難しい授業を回避するということでしょう。

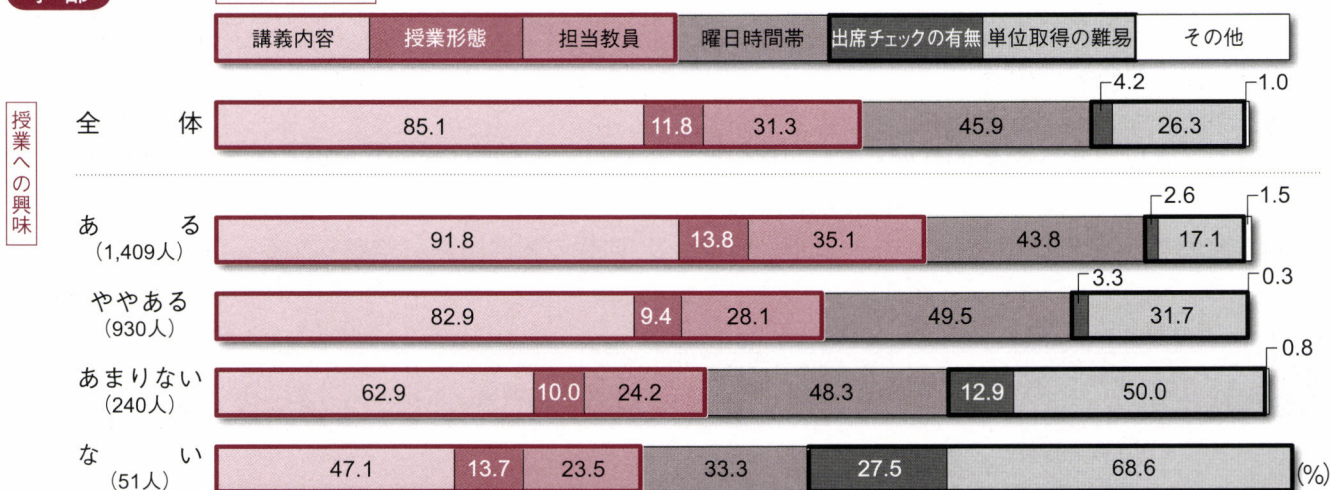
大学院学生の場合、興味の高さを反映して、結果への関心は「出席チェックの有無」(2.1%)、「単位取得の難易」(12.7%)しかありません。

クロス
集計

横軸 あなたが授業を選ぶ際に重要だと思う要素は何ですか？[複数選択可] / 縦軸 大学の授業に興味がありますか？

学部

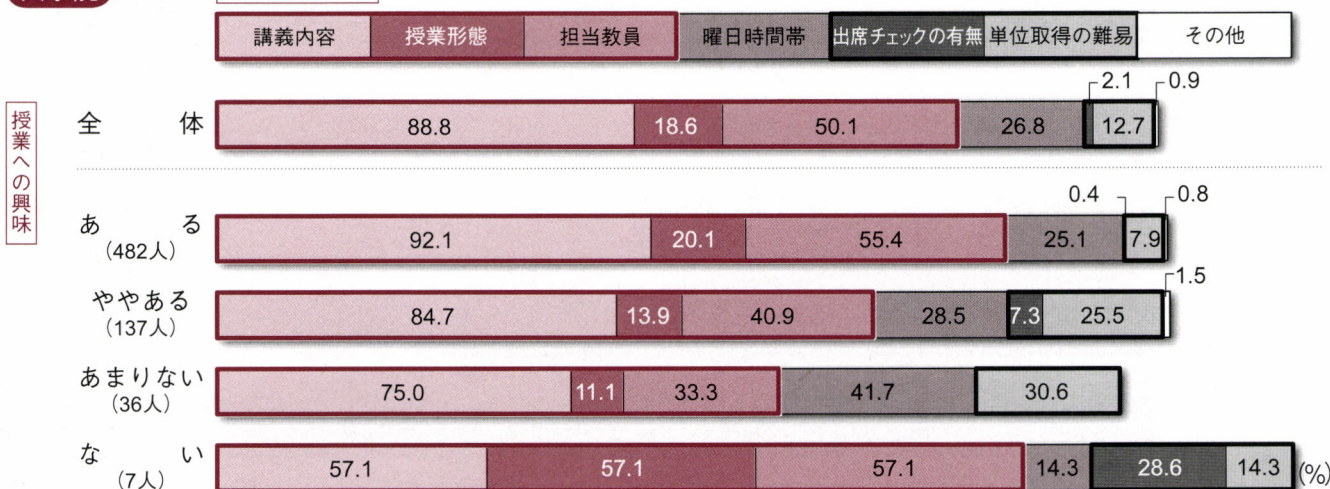
授業選択の基準



授業科目選択の仕方には、学年による大きな違いはありませんでした。

大学院

授業選択の基準



※数値は、縦軸の回答者数のうち、横軸の選択肢を回答した割合。



授業に興味のある学生は出席率も高い しかし、学年が上がると出席率は下がる

出席率

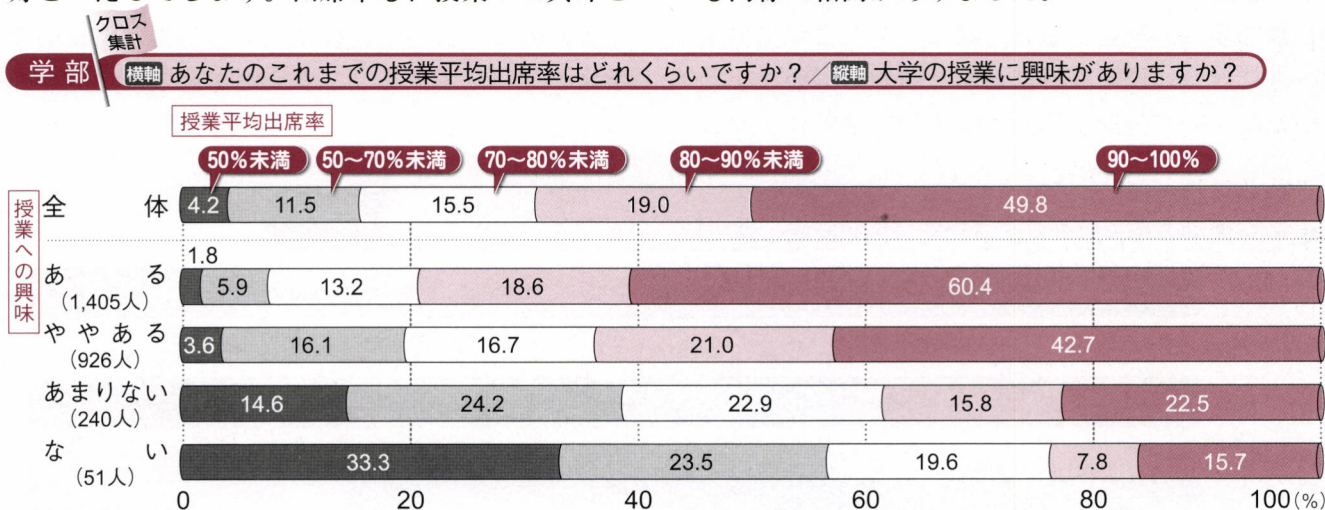


出席率 **「90～100%」**

学部学生：**49.5%**、大学院学生：**66.1%**

学部学生の約半数が90%以上の出席率であると答えていますから、全体としてみれば出席率は良好といえるでしょう。出席率も、授業への興味と

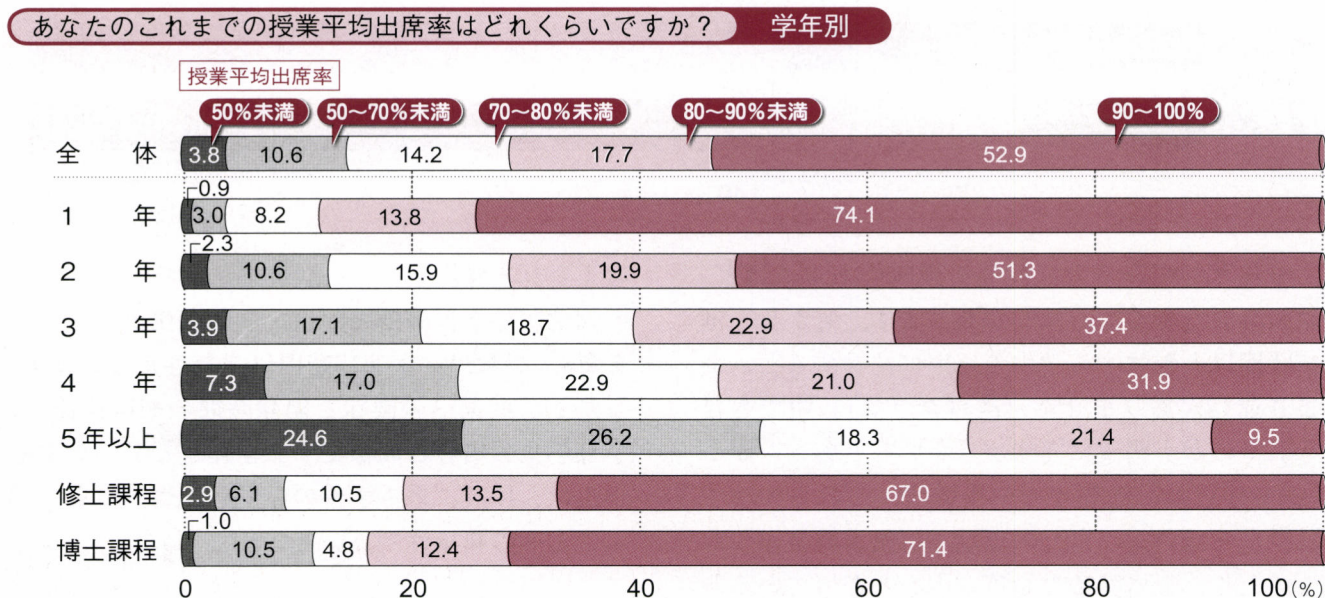
相関があり、興味のある人ほど出席率が高くなっています。なお、出席率と授業に対する満足度にも同様の相関がありました。

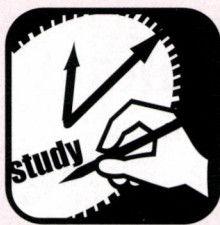


ただし、出席率と最も関係の深い要因は学年です。学年が上がるとつれて、出席率は一貫して低下しています。1年生では74.1%あった「90～100%」という回答が、3、4年生では30%台に下がっています。しかし、学年が違ってても、授業への興味や満足度にはあまり差がなく、また、調査

の時期が就職活動の時期とも重なっていることから、出席率の減少は、授業に対する積極性が低下するためではないと考えられます。

大学院では、90%以上と答えた学生は66.1%に上昇しますが、興味や満足と出席率が相関することは、学部学生と同様でした。





学年が上がると、出席率は減っても 勉強時間は増える

授業以外にする
勉強・研究時間



最多回答は、学部学生：「0～5時間未満」

大学院学生：「25時間以上」

学年が上がると出席率が減るのは、学生が次第に勉強しなくなるということなのでしょう。事態はそれほど単純ではありません。

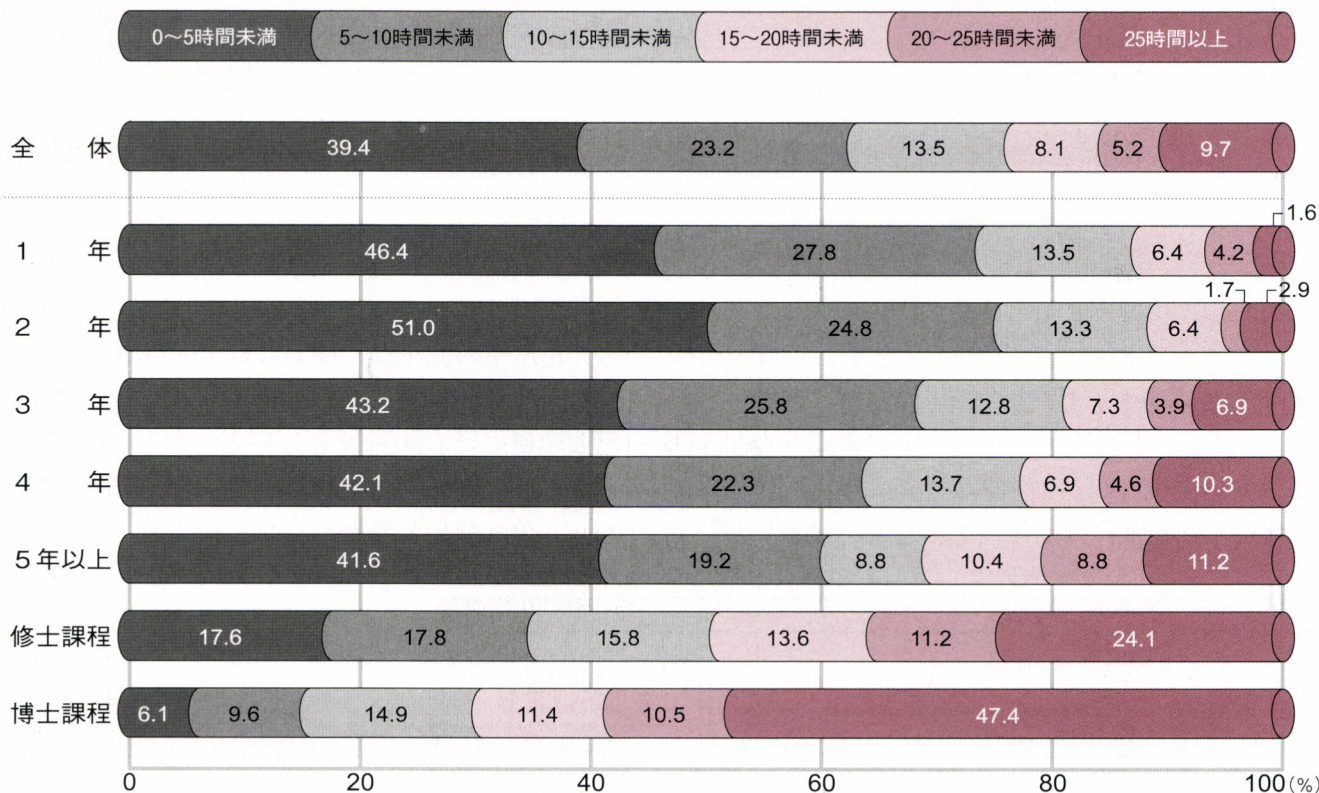
学部学生の場合、勉強時間についてまず指摘すべきことは、授業以外ほとんど勉強していないといえる「0～5時間未満」の学生が、学年にかかわ

らず40%以上いることです。その一方で、3年、4年と学年が上がるとつれて、週15時間以上勉強する学生が確実に増えていくことが分かります。学年とともに、自主学習に積極的な学生と消極的な学生が分化していくことがうかがえます。

自宅・図書館・ダブルスクールなどで行う、

大学の授業以外にする研究・勉強時間は週平均でどれくらいですか？

学年別



全体としてみると、授業に興味のある人ほど、勉強時間も多くなる傾向があります。しかし、週15時間以上勉強する学生の比率に注目すると、あまり違いがありません（次頁グラフ）。中でも目を引くのが、明確に興味がないと答え、かつ「25時間以上」勉強する学生です。これらの学生は少数とはいえ、自分の専攻と目指す職業がずれていたり、資格試験の対策が中心となっていると

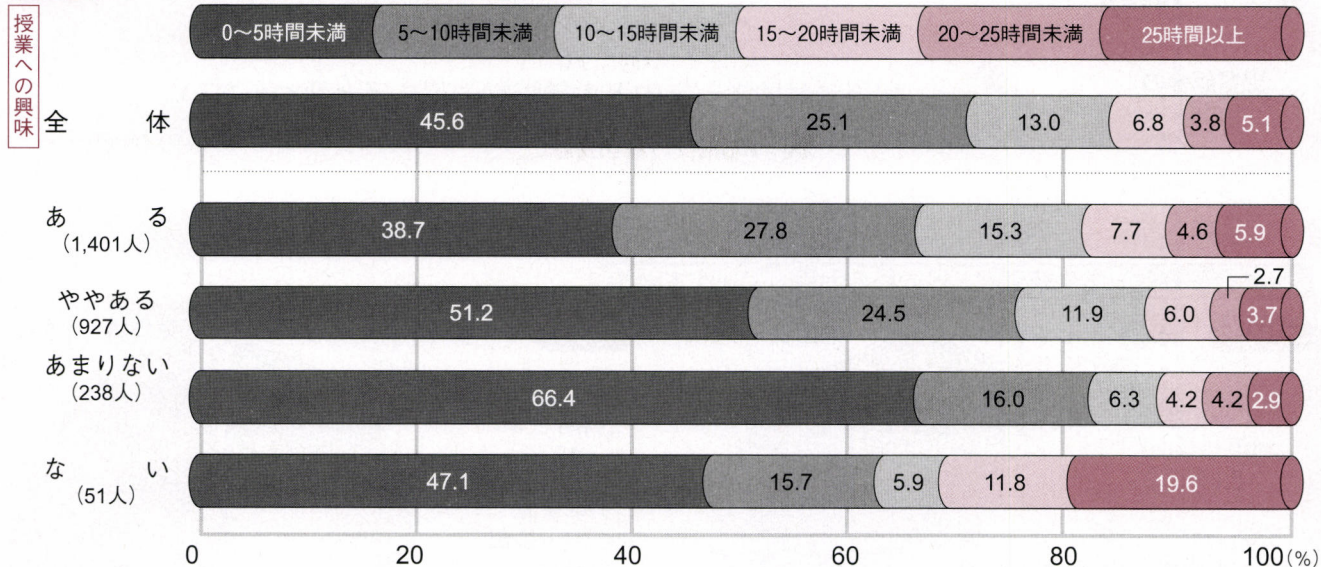
考えられます。

大学院学生の勉強時間は、学部学生よりもずっと多く、半数以上が週15時間以上と答えています。しかし、授業への興味と勉強時間の相関関係は、学部学生の場合と同様です。全体として、大学院学生は、授業、自主学習のいずれについても、学ぶことへの積極性が高いといえます。

横軸 自宅・図書館・ダブルスクールなどで行う、大学の授業以外にする研究・勉強時間は週平均でどれくらいですか？／縦軸 大学の授業に興味がありますか？

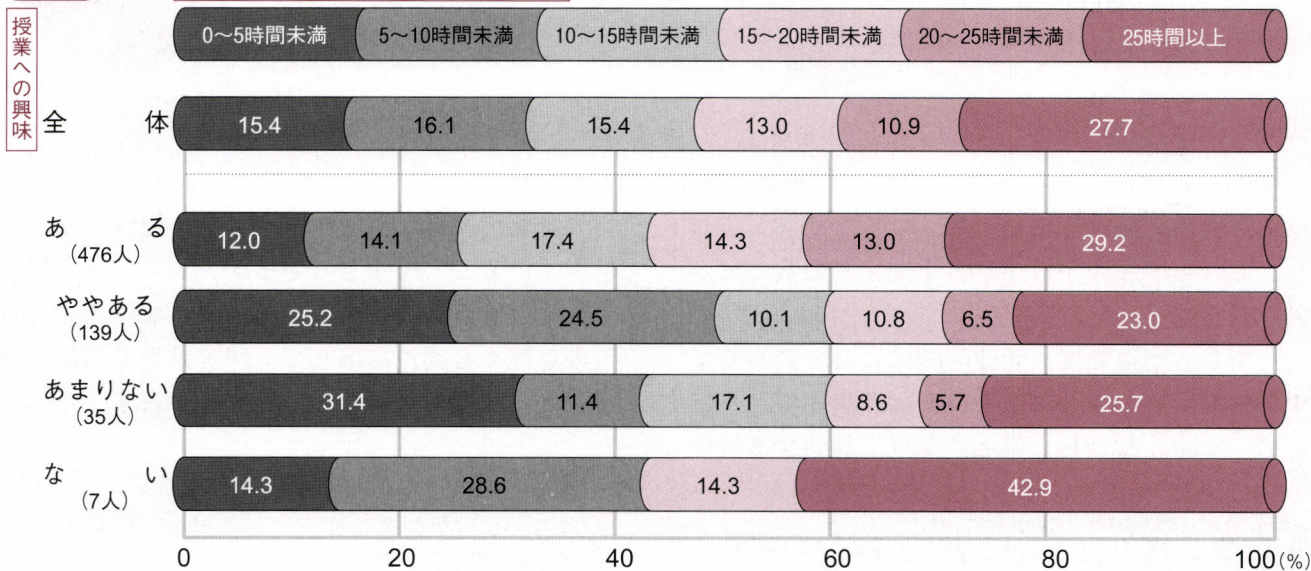
学部

授業以外にする研究・勉強時間（週平均）



大学院

授業以外にする研究・勉強時間（週平均）



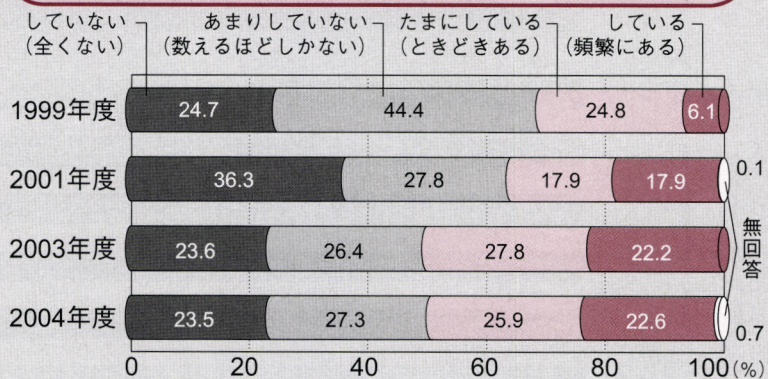
コラム

教員との会話の程度を経年変化で見ると、教員と会話する学生は、近年増加傾向にあるようです。

テーマカレッジやオープン科目などの充実や新入生の導入教育の実施によって、低学年でも教員と話す機会が増えているのかもしれません。

しかし、それでも半数の学生が教員と話さない傾向にあります。

短時間でも教員と話していますか？（あなたは教員と短時間でも楽しく話をしたことがありますか？）（経年変化）





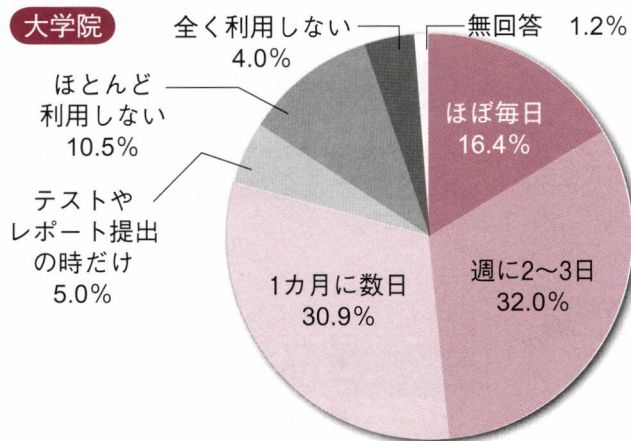
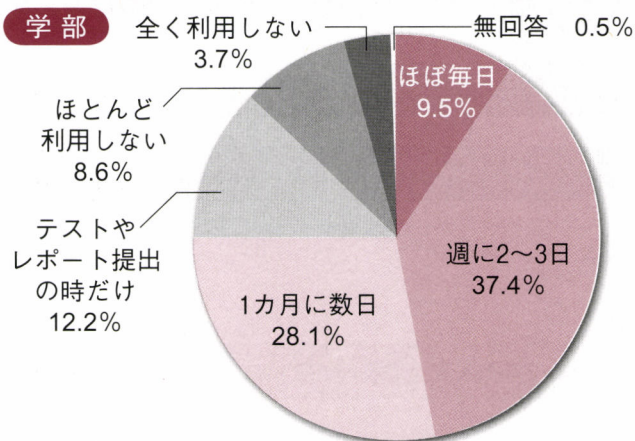
図書館は自主学習の支え

図書館等の
利用



利用頻度は学部学生と大学院学生でさほど変わらない

大学の図書館・学生読書室をどの程度利用していますか？



学部、大学院とも、約半数の学生が週2〜3回以上図書館や読書室を利用していると回答しており、これらの施設が自主学習を支えていることが分かります。

ただし、利用頻度は勉強時間によって変わります。学部学生の場合、勉強時間は利用頻度と対応しています。しかし、週20時間以上勉強する学生

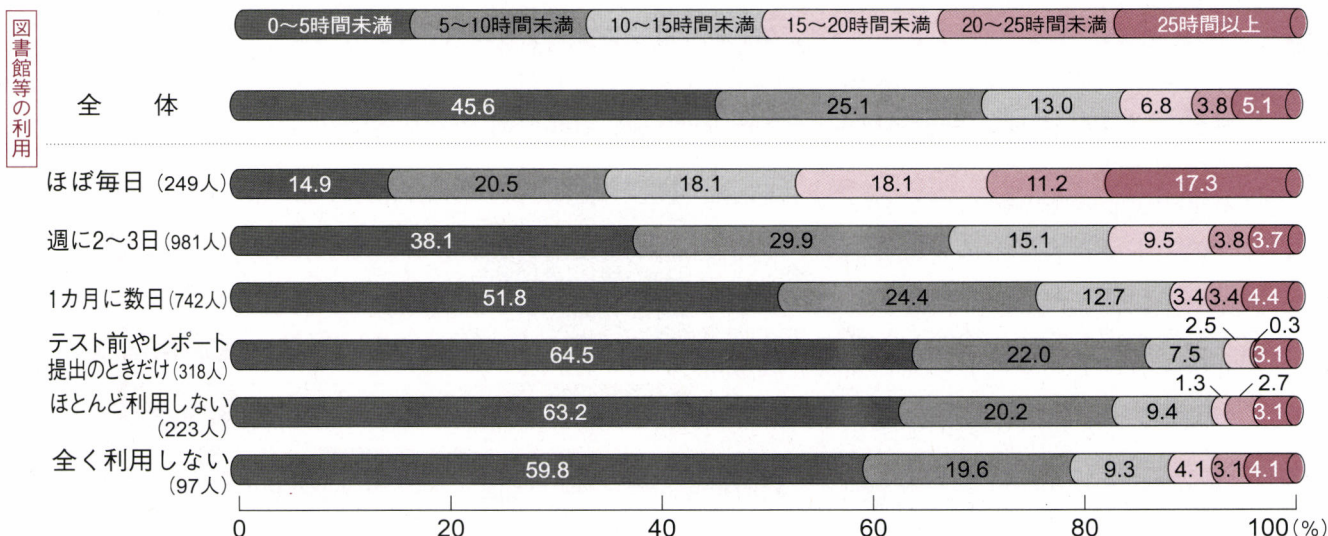
の比率は、「ほぼ毎日」を除くと、おおむね一定です。利用頻度が少なくても、十分勉強している学生がいることを示しています。

大学院学生の使い方は一層多様になります。各人の専門や必要性に応じて、図書館等を頻繁に使う人と、ほとんど使わない人に分かれました。

クロス
集計

学部 横軸 自宅・図書館・ダブルスクールなどで行う、大学の授業以外にする研究・勉強時間は週平均でどれくらいですか？ 縦軸 大学の図書館・学生読書室をどの程度利用していますか？

授業以外にする研究・勉強時間(週平均)





自主学習の積極性は 教員との接触を高める

教員との会話



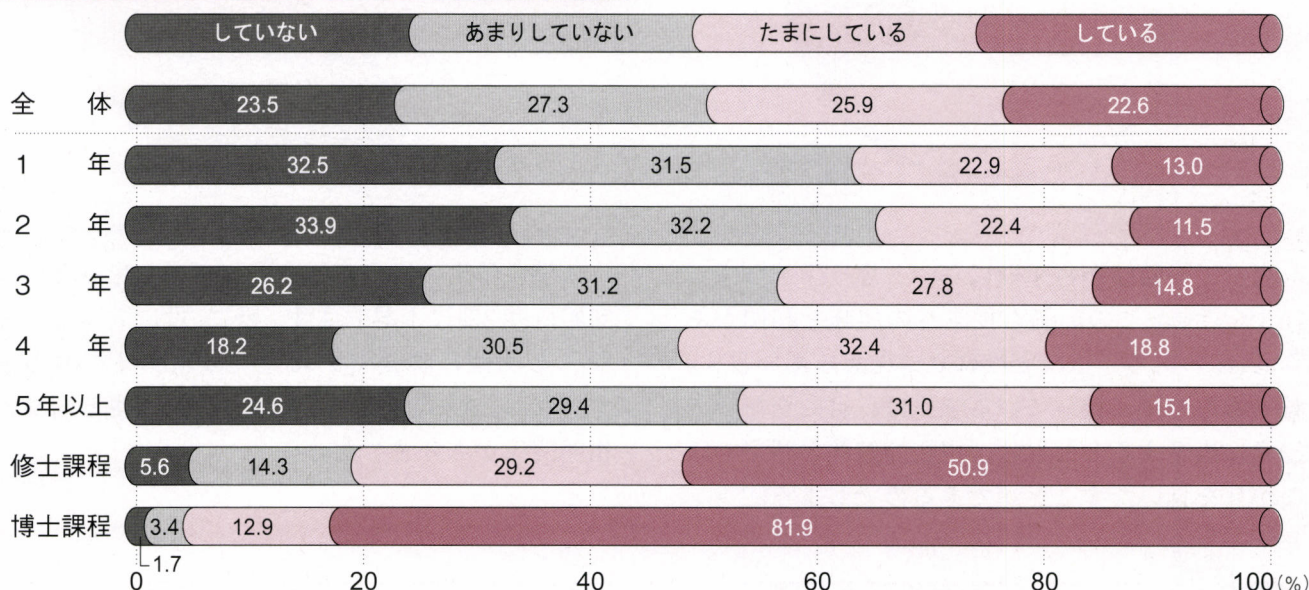
短時間でも教員と会話をする学生は、
学部学生：**39.9%**、大学院学生：**82.0%**

学部学生で、短時間でも教員と話を「している」、「たまにしている」という回答は39.9%でした。これには学年差があります。1、2年生は約35%であるのに対し、4年生になると51.2%に上昇します。これは、ゼミや卒論をきっかけとして、教員と接する機会が増えてくるためでしょう。注目できるのは、自主学習の時間との結びつきです。

教師と学生の関係は、基本的に学ぶことを介した関係です。それゆえ、自主学習への積極性は、教員との接触を増やすことにつながるわけです。

指導がより緊密になる大学院では、話をしている学生の比率は82.0%になります。さらに、「している」という明確な回答も、半数を超えます。

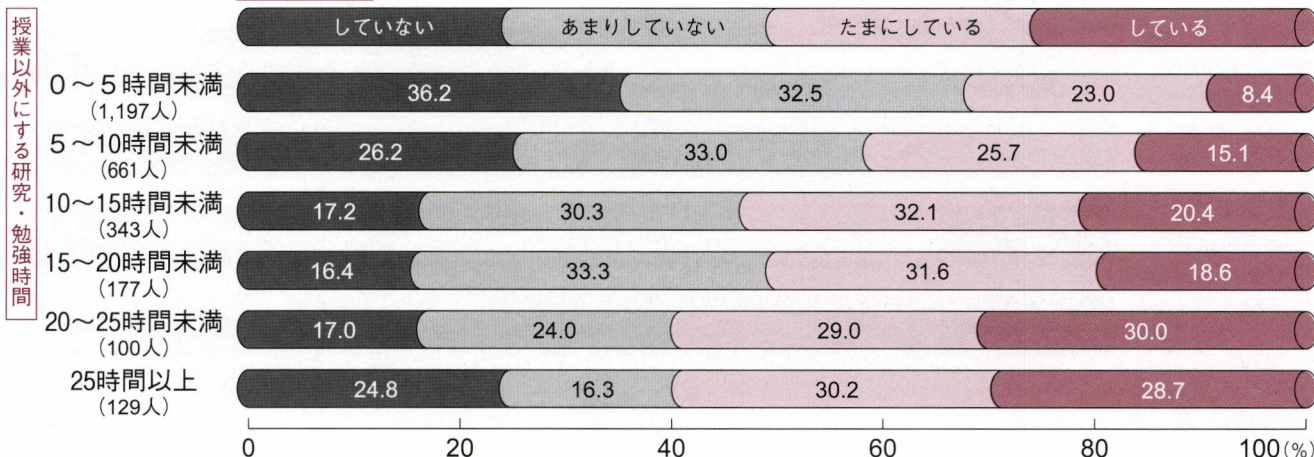
短時間でも教員と話をしていますか？ 学年別



学部

短時間でも教員と話をしていますか？／自宅・図書館・ダブルスクールなどで行う、大学の授業以外にする研究・勉強時間は週平均でどれくらいですか？

教員との会話





授業に興味のある学生ほど、勉強が将来役に立つと評価

勉強と将来の
関係

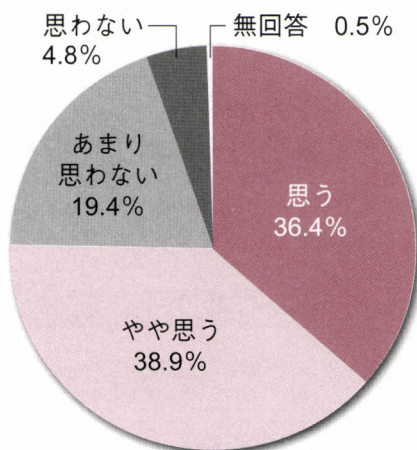


役立つと考える学生は、

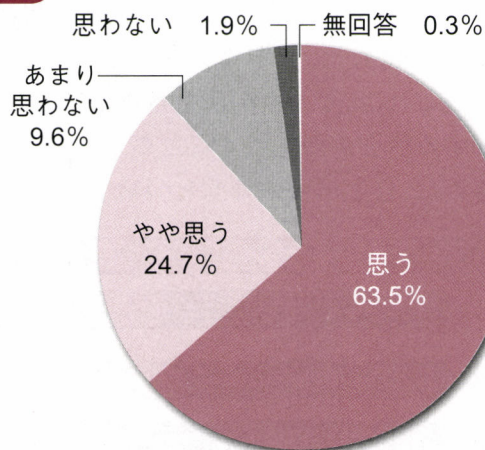
学部学生：**75.3%**、大学院学生：**88.2%**

大学での授業や勉強は、将来自分の進路先で何らかの役に立つと思いますか？

学部



大学院



大学での勉強が将来役に立つと思う学部学生は75.3%です。この評価も授業への興味と相関があり、興味のある学生ほど役に立つと思っています。将来像を明確に持っている学生は、目的を持って授業に出席するとともに、現在の勉強と将来のつながりを見いだすことができるのでしょう。

大学院学生の場合、将来役に立つと思うという回答は88.2%に上昇します。特に、役に立つと「思う」と明確に答えている学生が63.5%を占めます。なお、授業への興味とは、学部学生と同様の相関関係がありました。

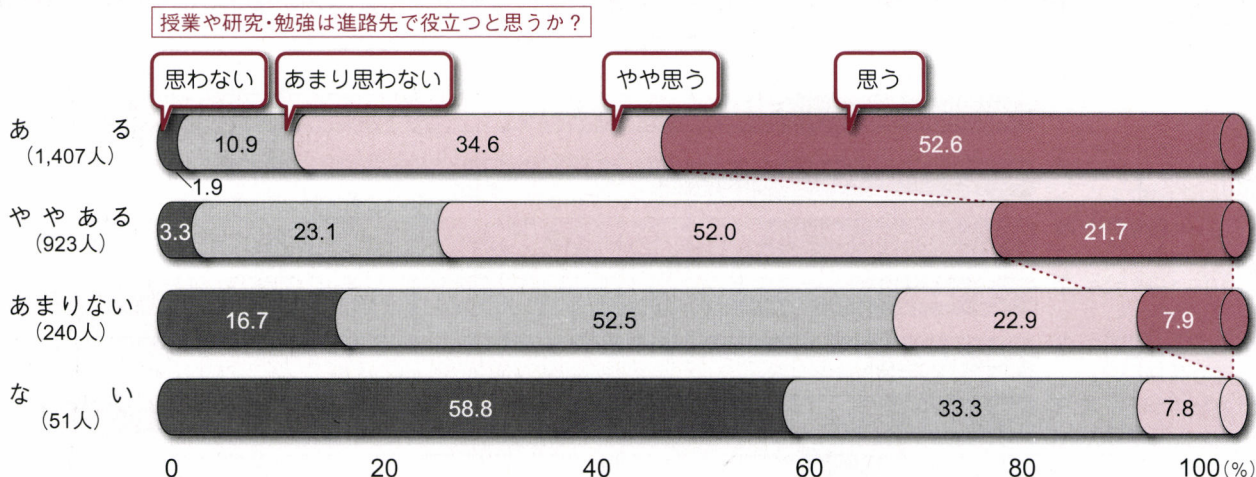
クロス
集計

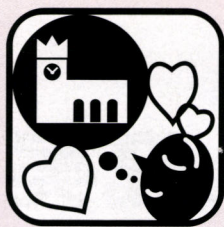
学部

横軸 大学での授業や研究・勉強は、将来自分の進路先で何らかの役に立つと思いますか？

縦軸 大学の授業に興味がありますか？

授業への
興味





授業への興味と 入学の理由は関連する

授業への興味と
入学理由の関係



授業に興味のある人は内容重視、ない人は消極的理由重視

この頁では、学部学生と大学院学生をまとめて扱います。授業に対する積極性は、早稲田大学を選んだ理由とも明確に結びついています。授業に興味のない学生ほど、「校風」、「教授陣」、「教育研究内容・レベル」といった大学の内容に関わる理由が減少し、「知名度・注目度の高さ」、「先生や親の勧め」、「希望した大学に入れなかった」、「浪人しないため」といった消極的理由が増加しています。

この結果は、大学で何を学びたいかという目的意識の大切さを示しています。大学を選ぶ理由は

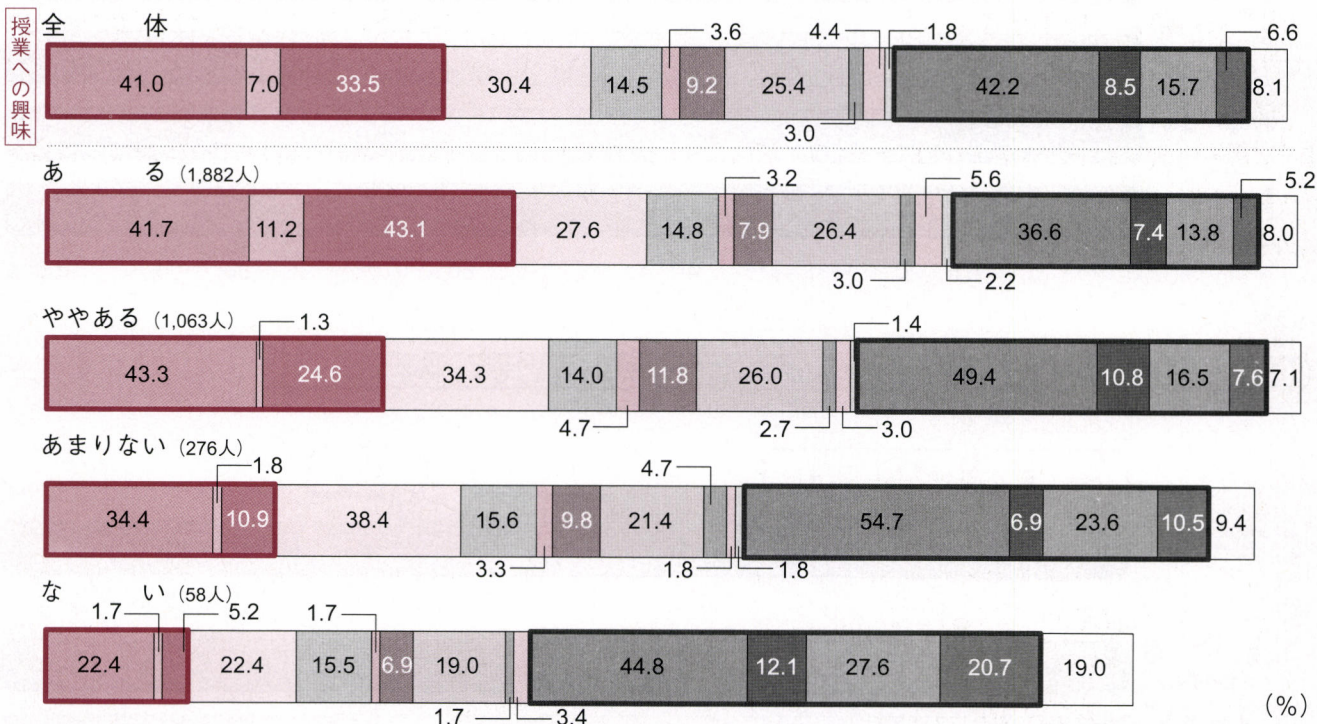
一つとは限りません。仮に「浪人しないため」といった消極的理由が当てはまるとしても、それ以外の、自分の興味や動機と結びついた積極的な理由を見いだせるかどうかであるといえます。

ただし、忘れてならないのは、この質問は過ぎたことを尋ねているにすぎないことです。学ぶことへの積極性は、入学時に決まってしまうわけではありません。大学で実際に勉強していく中で、能動的に築き上げていくものです。授業に興味のない学生は、学ぶことへの積極的理由を見いだせないままの人たちだといえるでしょう。

クロス
集計

横軸 早稲田大学を選んだ理由は何ですか？ [複数選択可] / 縦軸 大学の授業に興味がありますか？

早稲田大学を選んだ理由



※数値は、縦軸の回答者数のうち、横軸の選択肢を回答した割合。



学ぶことの充実こそ、 学生生活の充実

授業への興味と
大学生活の充実度



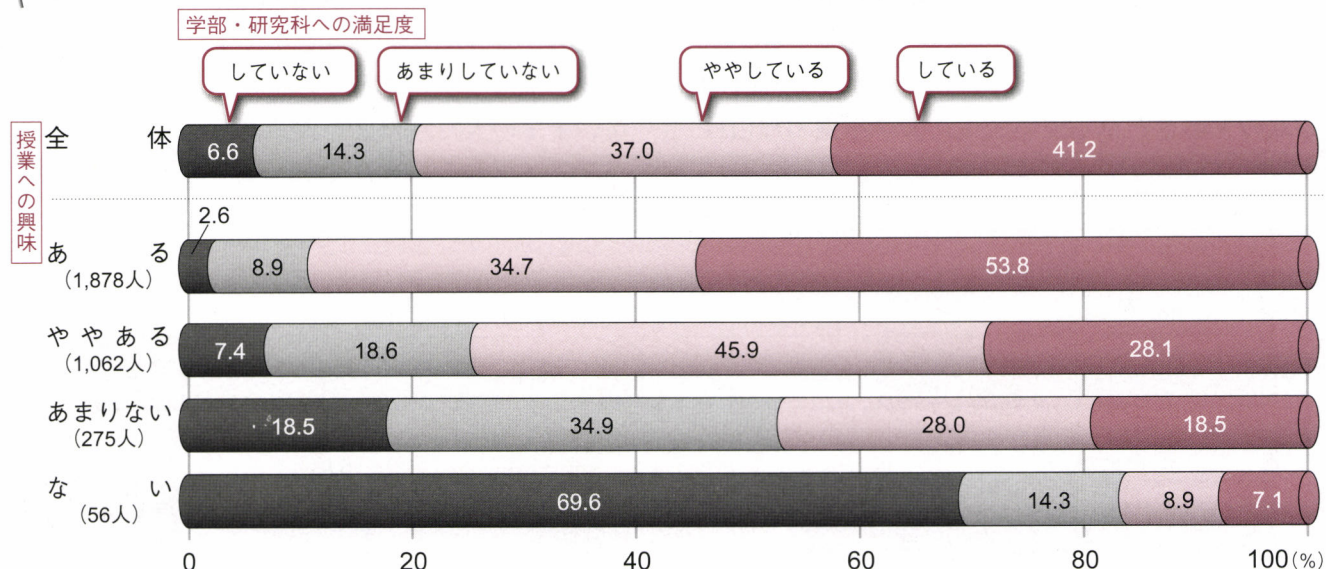
授業に興味のある学生ほど、入学後の満足感や充足感が高い

学ぶことへの積極性は、入学した学部・研究科に対する満足や大学生活の充実感と密接に対応しています。例えば、授業に興味のある学生ほど、入学した学部や研究科に満足し、大学生活に対して充足感を抱いています。

大学生活の中心は何よりも学ぶことにあります。それには、学ぶことに対して自ら積極的に関与していく必要があります。第1章の結果は、学ぶことの充実こそ、学生生活を充実したものにすることを示しています。

クロス
集計

横軸 入学した学部・研究科に満足していますか？／縦軸 大学の授業に興味がありますか？



クロス
集計

横軸 大学生活は充実していると思いますか？／縦軸 大学の授業に興味がありますか？

